

当社地元伊達市観光大使

だてゆうたさん 頑張れ!!

地元伊達盛り上げに一役



伊達市観光大使の伊達悠太さん

当社の地元、北海道伊達市の観光大使に任命されたばかりの演歌歌手、伊達悠太(だてゆうた)さんと、伊達市の名産品「キンキいずし」などを製造する当社、中井英策商店が「互いに、愛する地元伊達市の為に頑張らしましょう」とエールを送り合い、相互それぞれの活動場面でPR応援活動を行うことで一致、先に伊達市内で開催された音楽

の交流が行われた。伊達悠太さんをかねてからファンとして応援していた当社スタッフが、伊達市観光大使に任命されたことを受けて行われた伊達市記念イベントに参加した際に、伊達さん本人に直接交流を申し入れたもので、伊達さん側も、「伊達を盛り上げるためなら・・・」という条件で、相互協力を承諾したものの、町おこしに向けての活動が今後、注目される。



テレビ取材も入り始めた工場内

キンキいずし製造本格化

半世紀の歴史刻み始動

心込めた手作り作業ピーク

発売から間もなく半世紀を迎える当社、中井英策商店の看板商品「キンキいずし」の今年秋に向けての製造が、今年度のピークを迎えている。「キンキいずし」は、発売から再来年には50年という大きな節目の年を迎える当社の看板商品で、初冬の今頃が製造のピーク。この時期には、当社工場内には、仕込み作業店が「互いに、愛する地元伊達市の為に頑張らしましょう」とエールを送り合い、相互それぞれの活動場面でPR応援活動を行うことで一致、先に伊達市内で開催された音楽

心込めた手作り作業ピーク

7年ぶりにぎわい市場

今月22~24日、アクセスサッポロ

さっぽろに出店へ



去年のにぎわい市場会場

当日は、当社は看板商品「キンキいずし」はじめ、人気の紅鮭や炙りホタテのいずし

北海道内の優れた逸品、珍しい産品を一堂に会して販売する年末恒例の物産市「にぎわい市場」に当社、中井英策

年久しぶりの出店を決めた。

味しく美味しいいずしが出来上がっており、年末までおよそ三万五千樽(500g樽換算)の製造を目指して、活気あふれる工場内となっている。

このイベントは、年末商戦を前に、道内の産地直送品を中心に、道内のおよそ100店近くが軒を並べて直接消費者に直面販売する、ひと足早い「年の市」として毎年開催されているもので、コロナ禍で当社も

その他、新製品「白ワインにあう北の生マリネ」や、キンキの魚醤油、お土産菓子なども販売する予定。にぎわい市場は、今月22日から24日までの3日間、札幌市白石区アクセスサッポロで開催される。



お友達になってね

お得な情報などリアルタイムでお届けします。

中井英策商店

中井英策商店とお客様を結びコミュニケーション新聞

キンキン新聞

きんきん新聞
第54号
編集・発行元
中井英策商店
北海道伊達市南陽町1-9-12

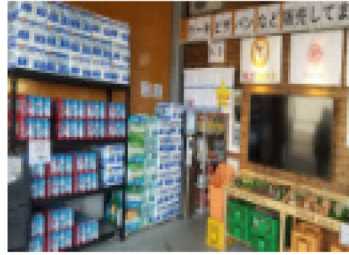
突撃訪問失礼しました①

外田さんの笑顔頂きました

私、中井英策商店代表の及川昌弘がいきなりですが、訪問し日頃のご愛顧にしてお礼に伺っている「突撃訪問失礼しました」ですが、この度は、北海道土別市にお住いのお得意先様、外田かおりさん(写真左)を訪ねました。「以前、伊達市に少し暮らしていた時があり、その時からのキンキいずしファンです」と嬉しいお声と、溢れる笑顔を頂きました。

道南八雲町で初販売 「コアラのお店」で取扱開始

「キンキいずし」などの当社の主力商品が、初めて道南



八雲町で販売されることなどが決定、この秋からの販売が開始された。
販売が開始されたのは、道南八雲町のJR八雲駅に近い小売店「コアラのお店」八雲店(写真上)。
この店舗は、同町内で古くから自動車整備工場を営む(有)ボデーショップ八雲(小西雄一社長)が「地元八雲町の方々がワクワクするようなお店を作りたい」との思いから営業を開始した小売店で、地元の農水産物を始め菓子食品など広く販売、さらに米国発の大型店コストコの代理店となつてコストコ製品の販売を広く行うなど、ユニークな品ぞろえが話題を集めている。
「コアラのお店」は、二海郡八雲町本町148-2、電話0137-666940番。

突撃訪問夫れしました②



芽室町の伊藤さんとあいました

私、中井英策商店代表の及川昌弘がいきなりですが、訪問し日頃のご愛顧にしてお礼に伺っている「突撃訪問夫れしました」ですが、この度は、北海道芽室町にお住いのお得意先様、伊藤義幸さん(写真左)と帯広市で開催されたイベントでお会いしました。
「キンキのいずしを楽しみに、毎日頑張ってますよ」と嬉しいお声と、チョコッピリはにかんだスマイルを頂きました。

秋フェア、商談会参加続く



秋の訪れとともに、当社中井英策商店のイベントやフェス、商談会への参加が相次いでいる。
残暑厳しい八月末には、恒例の帯広でのイベントに出店したの続き、9月初旬には東京池袋で行われた商談会に出展参加、百貨店やスーパー担当者との商談を行ったほか、10月26日からの2日間、千葉県香取市で行われた「全国発酵食品サミット」に出店参加、日頃馴染みの薄い北海道の「いずし」の試食キャンペーンなどを千葉県内で初めて大々的に行った。催事イベント等への出店は十一月末まで続く。



「あの、いずし屋」看板大好評に

当社工場の入り口にある立て看板「あの、いずし屋です」が人気だ。中には写真を撮って行く人も。是非お立ち寄り下さい。



当社、中井英策商店が日頃お世話になっているお得意先各社を訪問、ご紹介する「得意先訪問」コーナーの今回は、青森県内南部で秋田県に近い平川市碓ヶ関の国道7号線沿いに位置する道の駅「いかりがせき」を訪ね、明石友宏駅長さんにインタビューしました。
道の駅開業から何年になりますか？
今年で26周年になります。こちらの地元農家の産品を販売する拠点を設け、農業振興に役立てようとの思いから産地直売の農産物販売所から始まりました。
県内でも屈指の規模の道の駅ですよね？
そうですね、今では産直農産物を中心に地元のお土産などを販売する物販コーナーの他に、レストランとフードコート、さらに温泉施設を整備し、少しでも長く楽しんで頂ける施設になったのではないかと思います。

大人気自然薯メニュー

レストランでは、地元産自然薯を使った「自然薯そば」「自然薯ラーメン」「自然薯タコ焼き」をイチオシにお勧めの、一番の人気メニューです。お土産では、地元産の果実「マルメロ」を使った「マルメロパイ」が人気です。当社の、いずしもお取り扱い頂いており感謝しております。
こちら津軽地方は、古くから飯寿司は冬の定番として親しまれて来ましたが、中井さんのいずしも扱わせて頂いて三年以上が経ち、かなり定着して来ましたよ。これから冬前に寒くなる季節になって来ましたが、今シーズンも期待していますよ。
有難うございます。今後とも宜しくお願いします。(聞き手、当社及川昌弘代表)

青森県道の駅いかりがせき



写真上は、道の駅いかりがせき正面、写真中は道の駅内の地元産野菜売り場コーナー、写真下が明石友宏駅長。

お得意先訪問

思い出旅日記・鉄道編 ⑳



ムへ。
仙石線は、始発駅は意外にも仙台駅のひと駅が始発で、平日

の早朝でもあり、仙台駅に滑り込んで来た時は、車内はほぼ満席状態だった。

電車には、地下ホームで乗り込み、スタート後も暫くは地下鉄のように地下を走る。

三つ目の駅、陸前原ノ町駅でようやく外に出た。それから暫くは仙台の商業地、住宅街を走る電車は、大都会仙台のベッドタウンを走り抜け

五つ目の駅、小鶴新田駅で通勤客がかなり下車した後、車内もかなり空気がはじめる。車窓には田園風景も見えて来た。福田、陸前高砂駅を過ぎ

たあたりからは車窓からも地方ローカル線の雰囲気がよく、よく深い良いムードに、そして

巨大なターミナルの駅前の商業ビル群に圧倒されながら、プラットホーム

お隣の城下町、多賀城駅に



止まった。ここではかなり多くの乗客が降り、車内は一気に閑散となった。

鹽竈神社の石段を心洗われながら昇る

そして、電車は今回最初の途中下車駅、本塩釜駅へ、ここで降り、最初の立ち寄り地「鹽竈(しおがま)神社」へ向かう。急ぎ足で歩いてほ

10分、神社の表参道に到着、見上げると地元でも有名な二百二段の石段が・・・、健脚自慢の方なら大丈夫だろうが、無理せずゆっくりと締めめるように登った。

汗ビッシュヨリになりながら、平安初期創建という歴史ある社殿を味わいながら、心落ち着けてからゆっくりと参拝、今度は裏参道側の下り坂を降

りながら本塩釜駅に向かう。本塩釜から再び電車に乗り込み、三つ目の駅松島海岸駅で再び下車する。

ここは言わずと知れた観光地であり、車内の観光目当て客が殆ど下車し、松島海岸や瑞巖寺などの「国宝」観光に

なだれ込んで行った。あの有名な国宝「瑞巖寺」は過去に二度訪れたこともあるため、今回はその近くにある伊達政宗公長女、伊達五郎八(いろは)姫霊廟の地、天麟院へ、

途中の観光客も少ない参道は心静まる空間だった。有名な瑞巖寺や、五大堂からの壮大な松島湾の絶景など、見る人を飽きさせない松島観光はやはり大お勧めの地でもある。

再び、松島海岸駅から電車に乗り込み、終着駅石巻を目

指す。電車は隣駅、高城町でしばらく停車し、電車のすれ違いを待つ。ここから先は単線に切り替わるからで、ここからの車窓も一気に地方ローカル線の雰囲気だ。

この漫画ロードを歩いておよそ十二分、石ノ森漫画館という記念館に辿り着いた。この間、街中にはモニュメントがおおよそ100mごとに立ち、観光客を出迎えているようだ。

最後に、石巻のお土産を買おうと、漫画館の傍の大きなお土産店に入り、石巻名物の「ちやきん」という饅頭と、牡蠣館を購入、帰りの車内で楽しみながら帰った。

サイボーグ達が、この町が石ノ森草太郎さんのキャラクター像(モニュメント)で町おこしを図る通称「漫画ロード」が全国的にも有名になっている。

サイボーグ達が佇む石巻市内



石ノ森漫画記念館

「サイボーグ009」は、小学生時代、いきなり体育館に集められて見せられた映画がその映画で、その内容も反戦や、道徳などを訴える石ノ

比較的小さい路線ではあるものの、歴史や文化、町おこしなど色々な顔を見せてくれる仙石線は、魅力あふれる路線だ。

歴史や文化に触れる面白路線(仙台、石巻、JR仙石線)

人生は無常、でもそれが楽し

当社及川代表が出版記念講演

当社、中井英策商店代表の及川昌弘は、8月24日、当社の地元伊達市内カルチャーセンター視聴覚室を会場に行われた、伊達市主催の「市民カレッジ第3講座」講師として演壇に立ち、及川代表の失敗だらけながらも懸命に生きて来た人生について熱弁、参



加者の熱い感動を誘った。この講座は、伊達市教育委員会が毎年、市内で活動する各分野の活動家を講師に招き、市民への講座として開放しているもので、今回は自作本「なせど成らぬことばかり、されど楽し我が人生」を出版した、当社及川代表が講師として演壇に立った。

講演で及川代表は、「全力で懸命に立ち向かい、情熱さえ失わなければ何とかなる」「人生は無常であり、良いことも悪いことも長く



大好評だったワイン会

北のマリネお披露目 ワイン会盛会終了

は続かない」など、自身の体験などを交えて、面白おかしくそして熱っぽく語りかけ、参加者の中には「懸命に生きて来られた及川社長の情熱に感動した」「あつという間の2時間、引き込まれた」と熱く感想を述べていた。

当社、中井英策商店は、このほど室蘭市中島町の洋食レストラン「思い出ナポリタン」のコラボ企画として、当社新製品「白ワインに合う北の生マリネ」の試食お披露目を兼ねた『白ワインに合う北の生マリネお披露目ワイン会』を開催した。

鉄道と同じくらいに大好きな本を紹介する「私の一冊」コーナー、今回は比較的読むことが少ない私にとつて珍しい小説を紹介したい。(中井英策商店代表・及川昌弘)

小説といっても、日本が太平洋戦争に突入する前夜を舞台にした歴史小説、北海道出身の佐々木譲氏著「時を追う者」を紹介する。

基本的にはあまり読まない私だが、タイトルは勿論、「過去に戻って開戦を阻止できる」としたら、どうする? というサブタイトルが気になった。

私の一冊 時を追う者・過去に戻って開戦阻止



太平洋戦争直後の焼け野原となった東京で、満州事変前夜の時代にタイムスリップし、日中戦争を回避することで、その後の悲惨な結末を迎える。

時間がかかった。評価の分かれるところだろう。それでも、満州事変前夜、時の関東軍が支配する、張りつめた緊張感の中国東北部のシーンが容易に想像できる展開に、時を忘れて入り込んでしまうほどの面白さだった。

初冬の日、温かな部屋の中、ゆっくり読書を楽しむには丁度良いボリューム感の一冊だ。

光文社からの出版で、1980円(税込)。

これだけ、ワクワクにさせておいて...えっ...そんな...、という意外な展開に、それもあいか?と自分を納得させるのに少し

える太平洋戦争を止めることが出来るのでは?と画策する旧陸軍中野学校出身の破壊工員主人公の、時代を超えた冒険を描いた、正に昔懐かしいテレビ番組、タイムトンネルのような歴史小説だ。

久々にワクワクする感覚で、一気に読み漁った。

登場人物も、満州事変前後の関東軍司令部や時の政府高官などの実名が登場し、結末は一体どうなるのか?あの悲惨な戦争は回避できるのか?と期待したが、意外な結末を迎える。



中井英策商店 工場長 大友孝

パリ修行の思い出



パリで見た凱旋門に圧倒されましたよと語るのは、当社工場スタッフで、工場長補佐を務めて貰っているベテラン料理人の大友孝さん。若かりし頃、パリの日系ホテルの和食レストランの副料理長を務めたキャリアを持つ彼に、今年の夏のオリンピックで盛り上がった、フランスパリの思い出を語ってもらいました。

パリ市長の前での調理に緊張

大友さんがパリに渡ったのは何年前になりますか?

今から35年前、私もまだ30歳を過ぎたばかりの若い頃です。当時勤めていたホテル日航千歳から、パリの日航ホテルの和食レストランの応援部隊として、和食の料理長代理として赴任し、2年間パリで働くことになりました。

パリの印象はどうでしたか?

何もかも初めてで、フランス語も分からず苦労の連続でした。地元フランス

私には和食担当でしたので、寿司を中心に和食のメニューを担当しました。パリの市長さんなどの地元の有名人も沢山来られ、市長さんの前で寿司を握った時は流石に緊張しました。本場フランス料理は美味しかったですか?

美味しかったです。正直言って日本の料理が一番だと思いましたが、フランスは水が良くないんです。私が赴任した時代は水道に石灰が混じっている状態でした。(次号に続く)



世界中から集まった料理人(右下が大友さん)



エッフェル塔近くに住居に



パリ市街に凱旋門が